山梨県で、遊ぶ、楽しむ、生活する

やまなしStyle

Vol.04
2025
Summer

令和7年6月1日　山梨県広聴広報グループ発行
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
TEL 055-223-1338　FAX 055-223-1525

YAMANASHI
山梨県

Hello、やまなし
～南山梨「道の駅 富士川」を拠点に“朝から”親子で思いきり遊ぶ！

■ Yamanashi Cultureガイド　江戸時代から続く、人を結びつける文化「無尽」とは？
■ Wonderful Town Yamanashi　～どんどん変わる、山梨県の“今”を知ろう
■ さあ、Y's Lifeに　～「やまなし移住計画」指南手帳
■ やっぱり山梨が好き　お笑い芸人 嶋佐和也さん

一特集一
家族の笑顔あふれる、「山梨キャンプ」へ

特集 Research local resources

美しき緑、霊峰、富士五湖、川遊び、旨い食材、魅惑の夜景……。
ここだけの感動が待っている

家族の笑顔あふれる、「山梨キャンプ」へ

いよいよ2025年の“夏”が到来。休日はもちろん、夏休みには、家族で思いっきり楽しみたい！
「でも、何をしようか……」。そんなふうに迷っている方も、結論は、簡単。
この夏は、「キャンプ」に決定！
山梨県には、初心者からベテランまで、大自然を満喫できる、キャンプ施設が勢ぞろい。
家族で味わう“キャンプ時間”は、かけがえのない思い出になるはずです。

Yamanashi Camp

山梨県で、遊ぶ、楽しむ、生活する
やまなしStyle Vol.04 2025 Summer

01 特集／Research local resources
美しき緑、霊峰、富士五湖、川遊び、旨い食材、魅惑の夜景……。
ここだけの感動が待っている
家族の笑顔あふれる、「山梨キャンプ」へ

02 ▶山梨なら、わずか2時間で大自然！ 1泊2日のワクワクCamp時間
06 ▶唯一無二の施設がそろう！ 何度も行きたい、山梨キャンプ
09 ▶県内各地にさまざまな魅力が……。テーマ別、アウトドア施設をご紹介
12 ▶最大の楽しみは「キャンプ飯」。地元食材を使ったオリジナル料理を！

16 Hello、やまなし～南山梨「道の駅 富士川」を拠点に“朝から”親子で思いきり遊ぶ！

18 Yamanashi Culture Guide 03
江戸時代から続く、人を結びつける文化「無尽」とは？

Wonderful Town Yamanashi どんどん変わる、山梨県の“今”を知ろう
19 グリーン水素で、さらに豊かな山梨県に
20 次世代エネルギー PR施設「きらっと」へ
22 なぜ山梨に？「Nesrad（ネスラド）」の研究者に直撃

24 さあ、Y's Lifeに～「やまなし移住計画」指南手帳
――会社員 高橋伸也さん

25 やっぱり山梨が好き File.04
「上京して気付いた“誇るべき”故郷の魅力」
――お笑い芸人 嶋佐和也さん

『やまなしStyle』は、電子書籍アプリ『Catalog Pocket』でも無料でご覧いただけます。10ヵ国語への翻訳や読み上げ機能にも対応しています。

「やまなしStyle」へのご意見・ご要望をお聞かせください。次号以降への参考とさせていただきます。

【「やまなしStyle」とは？】

山梨県外にお住まいの方々に、
“やまなし”の魅力をお伝えするメディアです。
観光で訪れるのもよし、住むのもよし、
そんな山梨県の素晴らしさをご堪能ください。

【発行】山梨県広聴広報グループ 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
TEL 055-223-1338 FAX 055-223-1525
■編集 株式会社プレジデント社
■アートディレクション キトミズデザイン
■校正校閲 株式会社ヴェリタ
■印刷・製本 株式会社サンエー印刷
表紙写真：野瀬勝一
※本誌に掲載されている画像、文章などの無断転用・無断転載はお断りいたします。

山梨なら、わずか2時間で大自然！1泊2日のワクワクCamp時間

アウトドア初心者の一家が、友人家族と南アルプスの河畔に広がるキャンプ場へ。
澄んだ空気に美しい景色。山梨でしか味わえない、充実した休日が待っている！

文◉三浦愛美／撮影◉野瀬勝一

キッチンや寝室付きのコテージなら、子ども連れのアウトドアデビューでも快適な滞在に。
このキャンプ場には、コテージが3タイプあり、4名～最大8名まで宿泊可能です。

テントを張って、ワクワク。準備もお楽しみの一つ

受け付け後、家族でテント張りに挑戦。「グーッと引っ張って！」の掛け声に、子どもたちも一生懸命。完成したテントに「ここでも寝てみたい～！」。

「あー、大自然に癒やされたい！」
日頃、パソコンにかじりついているライターの私。たまには机から離れ、自然に抱かれたいという思いに駆られます。とはいえ、わが家はみなアウトドア初心者。どこへ行こうか迷っていたところ、アウトドア好きの友人から「キャンプなら、大自然を楽しめる山梨がいいよ！」と聞き、一念発起。週末に、友人家族とともに山梨を目指すことになりました。
南アルプス市の「ウエストリバーオートキャンプ場」は、都心から車で2時間ほど。甲府盆地に抜けると、目の前には南アルプスや盆地の絶景が広がり、期待が膨らみます。景色を楽しむうちに、緑いっぱいのキャンプ場に到着。さあ、念願の1泊2日、アウトドア体験が始まりました。

初心者にも安心のコテージ

「手ぶらでOK」という言葉を信じ、着替えと歯ブラシ、タオルだけをリュックに詰め込んで来たけれど、大丈夫かな……。にわかに不安になりつつも、受付を訪ねると、そんな杞憂は払拭されました。
「テントやタープ、釣り具にバーベキューセットも、すべてレンタルできるので、大丈夫ですよ」
温かい笑顔に誘われ、今夜の宿泊場所に到着。アウトドア初心者の私たち家族が友人に薦められたのは、キッチンやダイニングがあり、調理器具まで完備の、家族4人でも広々使えるコテージ。奥の寝室にはマットとお布団まで。心強い限りです。
川を挟んだテントサイトでは、アウトドア上級者の友人一家がテントを張っています。指南を受けながら、わが家の子どもたちもテント張りに参戦。でき上がったテントで「すごいね、広いね！」とゴロゴロしながら楽しそうに声をあげます。

南アルプスの清流で川遊び

そして、いよいよ本日のメインイベント、魚釣りへレッツゴー！　以前から「釣りをしてみたい」と言っていた息子は、こちらのキャンプ場で願いがかなうと知って大はしゃぎ。喜びを爆発させていました。
ワクワクしながら釣り糸を垂れて30分。……全然釣れません。スタッフの方が「それでは釣れませんよ」とアドバイスをくれました。魚はこちらが思うより賢く、人の声や影を察知して逃げてしまうそう。助言に従

南アルプスの雪解け水が流れ出す御庵沢川の清流は、まるでミネラルウォーターのよう。美しい水での川遊びは、暑い夏にたまらない気持ち良さ。親子のいい思い出になりました。

子どもも大人も、大興奮！五感で楽しむアクティビティ

場内の遊具広場でアスレチック体験を。子どもたちは、ターザンロープやブランコ、ボルダリングに夢中です。いい笑顔だね！

揚げたての、ニジマスの唐揚げは、あつあつジューシー。ハフハフと口いっぱいに頬張り、「おいしいね！」。

い、釣り方を工夫して、待つことしばし。ついに一匹目が釣れました！

それからは計5匹のニジマスが釣れ、その活きのよさにびっくり。力強く跳ねるのを、子どもたちがキャーキャー言いながら捕まえ、スタッフに手渡します。聞けば、その場で調理もしてくれるそうです。

「串刺しで自分で焼くか、こちらで唐揚げにするか、どうしますか？」。迷わず「唐揚げで！」とリクエスト。

そして登場したニジマスの唐揚げの大きいこと、おいしいこと！　大きな口でかぶりつくと、フワフワな白身魚からジューシーな味わいが口いっぱいに広がります。

日頃、焼き魚の小骨にも不満をこぼす子どもたちが、今日はワイルドにどんどん平らげていきます。

暮れゆく川辺で家族団らん

日が暮れ始める頃、バーベキュー会場に集合。日が落ちると涼しく、おこした炭火の心地よいこと。牛肩ロースやハーブチキンは旨みたっぷりで、大人は焼き立てを頬張りながら、持ち込んだ地ビールと甲州ワインで乾杯！　子どもたちもスープやピザに舌鼓をうち、大満足です。

事前予約で「牛肩ロース、ハーブソルトチキン、ミニピザ、野菜スティック、スープ」などが味わえます。食材持ち込みもOKで、ドリンクは場内の売店でも購入可能。

食事や火を囲んで語らう時間もキャンプの醍醐味。

テント・コテージ・バンガロー・ロッジとさまざまなタイプの宿泊施設があり、子連れ・ペット連れなど、好みに応じて過ごせます。

山々に囲まれた空間で、川の流れを眺めながら過ごす時間。山梨ならではの、最高の気分転換です。

アウトドア体験に感激。次の休日も、また山梨に行こう

ウエストリバー オートキャンプ場

- 山梨県南アルプス市須沢131
- 055-285-6611（音声ガイダンス）
- ¥ 1泊5,700円～（テントサイト）、18,900円～（コテージ）など
- 中央自動車道 甲府昭和ICから車で30分

施設 …… テントサイト65カ所、コテージ3棟、バンガロー3棟、ロッジ3棟
シャワー …… あり
お風呂 …… あり（営業日を要確認）
Wi-Fi …… あり
AC電源 …… 電源付きサイトあり
ゴミ捨て場 …… あり
ペット …… ドッグフリーサイトのみ可

食後は星空の下、たき火を囲みながら、デザートにマシュマロをあぶる。これぞアウトドアの醍醐味。

……と、ここでもう一つうれしいニュースが。なんとこのキャンプ場には露天風呂があったのです。バーベキューの煙で香ばしくなった身を湯船に沈め、一日の疲れを存分に癒やします。コテージに戻ってお布団に潜り込んだら、あっという間に深い眠りに沈み込んでいきました。

休日は山梨で深呼吸を

翌朝は鳥のさえずりで目覚め、テント隊と合流。戸外で湯を沸かして、コーヒーを淹れ、持ち込んだパンとハムでホットサンドを。シンプルな朝食も自然の中で食べると、格段においしさが増すから不思議です。

チェックアウトは11時。のんびり荷物をまとめて、無事、1泊2日の初アウトドアを締めくくりました。

ハードルが高いと思いこんでいたキャンプ。山梨なら、自然いっぱいでアクセスもよく、手ぶらで楽しめるところもあると知り、パパも子どもも大喜び。「次はどこのキャンプ場に行ってみる？」、わが家に新しい休日の過ごし方が加わりました。

唯一無二の施設がそろう！
何度も行きたい、山梨キャンプ

山梨は、多様な個性をもつアウトドア施設の宝庫だから、誰もが大満足。
家族や友人とともに、自分たちらしい過ごし方を見つけて楽しみましょう。

文●山内史子（紀行作家）／撮影●野瀬勝一

自由自在なステイがかなう！準備いらずで家族時間を満喫

1

2

1. テントサイトは広さや設備が異なる8タイプがある。2. ショップとカフェがあるセンターハウスではアウトドア用品などを販売。

山梨の甲州ワインビーフを使った絶品の「チーズバーガー w/ チーズポテト」1,880円。

「米粉ワッフル自家製ラムレーズンバタークリームサンド」780円（奥）と、「ぶどう丸ごとレアチーズケーキ」680円（手前）。

FOLKWOOD VILLAGE 八ヶ岳

- 山梨県北杜市小淵沢町3900-2
- 0551-37-4130
- ¥ 1泊6,000円～（テントサイト）など
- 中央自動車道 小淵沢ICから車で5分

施設 …… テントサイト70カ所、トレーラーハウス1棟
シャワー …… あり
お風呂 …… なし（サウナあり）
Wi-Fi …… あり
AC電源 …… 電源付きサイトあり
ゴミ捨て場 …… あり
ペット …… 可

自然に恵まれた山梨県には、全国トップクラスを誇る約250のキャンプ場が点在し、環境や過ごし方などバラエティに富むのが魅力。なかでも初心者が気楽にエンジョイできると評判なのは、北杜市「FOLKWOOD VILLAGE 八ヶ岳」です。

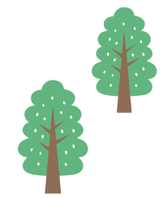
最大の特徴は道具類から食材まで、必要なものがすべてそろっている上、事前に相談すればテントの設営も頼めるという心強いサポート。準備に時間を要さない分、家族や仲間と過ごすひとときを満喫してほしいとの思いが、そこには込められているとか。一方で道具や食材の持ち込みはもちろん、サービスの一部のみの利用も可と自由度は高く、上級者なら独自の展開もできそうです。

大きな骨付きのステーキやダッチオーブンで焼く丸鶏、パエリアなど本格的な料理をつくれるミールキットも多数そろい、レシピ付きなので安心してチャレンジできるのがうれしい限り。敷地内にはカフェもあり、ハンバーガーなどこちらも上質なおいしさな上、夏場には、天然氷を使うかき氷で涼を得られます。シャワーや、サウナ施設もある森の中はウッドチップが敷きつめられ、子どもたちが走り回っても安心。食育にもつながる鹿の解体イベントも開催され、森の中での経験は大切な記憶として深く胸に刻まれることでしょう。

涼やかな音に抱かれ過ごす

キャンプに加えて川遊びという心躍るひとときが待つのは、県最南端の南部町、福士川渓谷沿いの「山水徳間の里」です。敷地内に水音を響かせるのは、テントサイト奥の滝。眺めに癒やされるだけではなく、過ごすうちにやがて心地よい音がカーテンとなり、お隣の存在が気にならなくなる効果にも気付きました。自由に入れる川は水深が浅いため、子どもたちが笑顔になれる上、サウナが設けられる夏場は流れの中で快感にひたりつつ、〝ととのう〟こともできるとか。ニジマスのつかみ取り体験も、ぜひ体験したいアクティビティです。

道具類や食材は持ち込みが基本ですが、炊事場やシャワー、風呂も完備。全サイトにAC電源が備えられ、Wi-Fi環境も整っています。車で10分ほどの距離にある、秘湯・奥山温泉もぜひ併せて。幻想的なライトアップが施される夜、湯上がりの極楽気分で滝の音に包まれながら飲むビールは極上のおいしさです。



渓谷の眺めと滝の音を満喫するなら川に面した場所を選びたい。
敷地内には遊具を備えたキッズエリアも。

川のせせらぎに耳をかたむけて……。渓谷で、心も体もリフレッシュ

山水徳間の里（さんすいとくま）

- 山梨県南巨摩郡南部町福士18080
- 070-3928-4009
- ¥ 1泊6,000円～（テントサイト）など
- 中部横断自動車道 富沢ICから車で5分

施設 …… テントサイト11カ所、トレーラーハウス1棟
シャワー …… あり
お風呂 …… あり
Wi-Fi …… あり
AC電源 …… あり
ゴミ捨て場 …… なし（有料で引き取り可）
ペット …… 可

1
写真提供：山水徳間の里

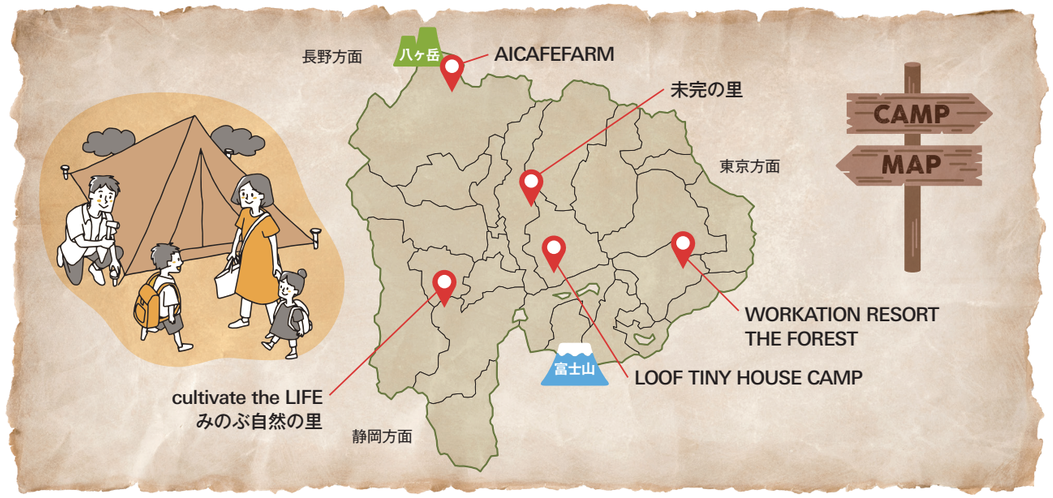
2

3

1. 夏は川でテントサウナを。2. トイレやシャワー、冷暖房などを備えたトレーラーハウスは1泊16,000円～。3.「そば処ひのき」の「天盛りそば」1,480円。

県内各地にさまざまな魅力が……。テーマ別、アウトドア施設をご紹介

山梨県には、やりたいことができる、自分好みの“アウトドア施設”が盛りだくさん。
自然やアクティビティを楽しめるキャンプ場で、特別な時間を過ごしてみませんか？



AICAFEFARM（アイカフェファーム）

有機野菜を採って味わう、親子で感動の食育体験を

居心地のよいドーム型テントの前に広がる、雄大なオーガニックファーム。自分で収穫した野菜や地元食材を使って、専属シェフがつくる特製のディナーは、山梨ならではのごちそうです。食育の場として家族連れに人気で、これからの季節は、ピーマンやナス、ミニトマトなど夏野菜が堪能できます。また、愛犬と過ごせるエリアも好評です。

1

3

2

1. 施設の畑では、オーガニック農法でつくる30品目もの野菜が採れる。2. 小さなお子さまから大人まで、山梨の食と農を体験できる。3. ディナーは専属シェフが調理してくれる。そのライブ感がたまらない。
（写真提供：AICAFEFARM）

山梨県北杜市高根町長澤1964-3
0551-45-8767
¥ 1泊22,000円／名～（ドーム型テント）など
中央自動車道 長坂ICから車で10分

施設 …… ドーム型テント1棟、トレーラーハウス1棟など
シャワー …… あり
お風呂 …… あり
Wi-Fi …… あり
AC電源 …… あり
ゴミ捨て場 …… あり
ペット …… 可（1日1組限定）

LE NIDO（ルニド）

圧巻の“富士山ビュー”に感動！プライベート空間で優雅なひとときを

山梨県南都留郡
山中湖村平野字中ノ倉3800-1
050-8892-0060
¥ 1泊19,800円／名～
東富士五湖道路 山中湖ICから車で8分

施設 …… ドーム型テント3棟
シャワー …… あり
お風呂 …… 近くに日帰り温泉あり
Wi-Fi …… あり
AC電源 …… あり
ゴミ捨て場 …… あり
ペット …… 不可

3

4
写真提供：LE NIDO

5
写真提供：LE NIDO

3. 入り口上、共用の展望デッキに上れば山中湖も望める。4. 各客室に置かれた天体望遠鏡は人気の的で、子どもも大喜び。5. 夕食の一例から「国産和牛・甲州地どり・シーフードセット」。

1
写真提供：LE NIDO

2

1. 刻々と様子が変わる富士山を堪能。2. 大型ドーム型テントは、なんと直径8メートルの大きさで、最大6名も収容できる。それぞれに空間やインテリアの趣は異なる。

富士山の絶景とともに

富士山に見守られて過ごすなら、山中湖村の森に3棟のドーム型テントが立つグランピング施設「LE NIDO」へ。圧倒的な存在感を放つ富士山の雄大な姿を堪能できる、ぜいたくなロケーションです。

広々とした客室はトイレやシャワー、大型のプロジェクター、アメニティ各種などに加え、ゲームや天体望遠鏡など子どもたちが喜ぶアイテムも充実しています。

グランピングには、スタッフがあれやこれやとサービスするイメージがあるかもしれませんが、こちらでは自分の好きなように過ごせるプライベート感の高いスタイルが印象的でした。各棟の専用テラスにはたき火用の薪と道具が用意され、バーベキュー用のコンロも設置。食材は持ち込みもOKですが、地元の精肉店が厳選したバーベキューセットや、朝食用のホットサンドセットを頼むのもいいでしょう。あとは美しい眺めを前に、思うぞんぶん、ゆっくりのんびりと……。

ご紹介した場所以外も、山梨のキャンプ場は実に多彩で、楽しみ方はさまざま。どこに行こうかと考える時間も含めて、お楽しみを。

LOOF TINY HOUSE CAMP

バレルサウナ、コーヒー焙煎。大自然の中で味わう〝非日常〟

“TINY HOUSE（小さい家）”と名付けられた4棟の宿泊キャビンは、すべて空調完備。敷地内にはバレルサウナがあり、大自然での“ととのい”時間を味わえます。コーヒー豆の焙煎（ばいせん）や火おこし、キャンプスイーツの定番「スモア」づくりなど、さまざまな体験も魅力。夕食は、地元食材をふんだんに使ったダッチオーブン料理が堪能できます。

1. シンボルツリーをぐるりと囲んで立つ宿泊キャビン。**2.** 体験で焙煎するコーヒー豆は、県内の人気店「AKITO COFFEE」がセレクション。**3.** 最大4人まで入れるバレルサウナは、事前予約必須だ。
（写真提供：LOOF TINY HOUSE CAMP）

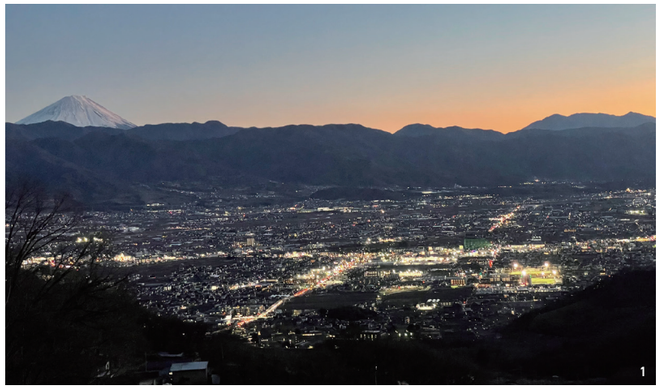
山梨県笛吹市芦川町鶯宿620-1
055-244-3895
¥ 1泊29,800円／名～（1泊2名利用時）
中央自動車道 河口湖ICから車で30分

施設 …… コテージ4棟
シャワー …… あり
お風呂 …… あり
Wi-Fi …… あり
AC電源 …… あり
ゴミ捨て場 …… あり
ペット …… 不可

未完の里

絶景夜景と入り放題の露天風呂。五感がほどける休日を

甲府市街地から車で10分ほどの場所にある未完の里は、源泉100％かけ流しの露天風呂に入り放題。温泉は宿泊者専用なので、混雑の心配はなし。テントサイトからはもちろん、見晴らし抜群な湯船からも、甲府盆地の美しい夜景が楽しめます。山梨の自然を味わった後、疲れを露天風呂で癒やす。そんなぜいたく時間はいかがでしょう。



1. 夕暮れの富士山と、眼下に広がる甲府盆地の夜景は感動もの。**2.** 区画は全部で8サイト。うち、7カ所が車の乗り入れ可能なオートサイトだ。**3.** 露天風呂は、ゆったりとしたつくり。大きな湯船が2つある。
（写真提供：未完の里）

山梨県甲府市横根町1182-400
080-1119-0110
¥ 1泊7,500円～（テントサイト）
中央自動車道 一宮御坂ICから車で30分

施設 …… テントサイト8カ所
（うち、7カ所オートサイト）
シャワー …… あり
お風呂 …… あり
Wi-Fi …… あり
AC電源 …… あり
ゴミ捨て場 …… あり
ペット …… 可

cultivate the LIFE みのぶ自然の里

アニメ「ゆるキャン△」の聖地。農作業で心も体もデトックス

「人生を耕す」をコンセプトに、農業体験を実施しているキャンプ場。なかでも、身延（みのぶ）町の特産品「あけぼの大豆」の種まきや収穫の体験が人気。また、電子機器から離れて自然と触れ合う時間を楽しむ「デジタルデトックスキャンプ」というプログラムも展開しています。ここは、大人気アニメ「ゆるキャン△」のモデルとなったことでも有名です。

1. アニメ「ゆるキャン△」で登場した鉄骨サイト。**2.** 大自然に囲まれた畑仕事の体験は、なんとも爽快。日常を忘れさせてくれます。**3.**「あけぼの大豆」の種まき体験は、6月からスタートする。
（写真提供：みのぶ自然の里）

山梨県南巨摩郡身延町平須238-1
0556-42-3181
¥ 1泊3,100円～（テントサイト※1名利用時）など
中部横断自動車道 六郷ICから車で20分

施設 …… テントサイト12カ所、宿泊棟
シャワー …… あり
お風呂 …… あり
Wi-Fi …… あり
AC電源 …… なし
ゴミ捨て場 …… あり
ペット …… 可（テントサイトのみ）

WORKATION RESORT THE FOREST

森の中でホテルライクな滞在。好みのスタイルで、ゆったりと

緑に囲まれた大型ドーム型テントは、和風やアジアンテイストなど7棟それぞれにユニークなテーマが設けられていて、おしゃれなインテリアに心が躍ります。アルコールも楽しめるドリンクコーナー、愛犬との宿泊やゴルフのプランもあり、多様な過ごし方が可能。まき割り体験や魚のつかみ取りなど、アクティビティも充実しています。

1. ドーム型テントは、家族連れや友人グループでも、のびのび過ごせる広さ。**2.** まき割りとたき火の体験が無料。星空の下、癒やしのひとときを。**3.** ドーム型テントの周りには、針葉樹が立ち並ぶ。
（写真提供：WORKATION RESORT THE FOREST）

山梨県都留市戸沢1068
0554-43-8811
¥ 1泊20,000円／名～
中央自動車道 都留ICから車で10分

施設 …… ドーム型テント7棟
シャワー …… あり
お風呂 …… 近くに日帰り温泉あり
Wi-Fi …… あり
AC電源 …… あり
ゴミ捨て場 …… あり
ペット …… 可

最大の楽しみは「キャンプ飯」。地元食材を使ったオリジナル料理を！

「甲州地どり」や「富士の介」など風味豊かな県産食材は、スパイス料理との相性も抜群。おいしく調理するコツを、キャンプの達人・伊藤シェフが指南します。

文●上島寿子（フードジャーナリスト）／撮影●牧田健太郎

「甲州ワインビーフ」の重厚な風味を、たっぷり堪能！

ビーフカレー

スパイスの香りとともに口いっぱいに広がる「甲州ワインビーフ」の味わいに大満足。そのまま食べても、ごはんにかけても、肉を食べる喜びに浸れる。

［材料・4人分］

牛肩ロース肉（甲州ワインビーフ）…400g
タマネギ（粗みじん切り）…大1個（250g）
G&G（ガーリック&ジンジャー）※…大さじ1
トマトペースト…36g
サラダ油…40ml
スパイスA（ホールスパイス）
・カルダモン…4個
・クローブ…8個
・シナモン…1片
・スターアニス…1個
スパイスB（パウダースパイス）
・ターメリック…小さじ1
・カイエンペッパー…小さじ1
・コリアンダー…大さじ1
・ブラックペッパー…小さじ1/2
・ガラムマサラ…小さじ1
塩…小さじ1
はちみつ…小さじ2
赤ワイン…200ml
水…300ml

※G&Gのつくり方
すりおろしたにんにくとしょうがを同量で合わせ、その1割程度の水を加えて混ぜる。冷蔵庫で1週間ほど保存できるのでキャンプ前につくっておくと便利。

［つくり方］

1. 牛肩ロース肉は一口大に切り、塩・こしょう少々（分量外）をふっておく。
2. 厚手の鍋にサラダ油とスパイスAを入れて強火にかける。時々かき混ぜながら、スパイスの香りを油に移す（写真❶）。
3. スパイスの周りに気泡が出てきたら、粗みじん切りにしたタマネギを入れる。水分を飛ばすようにかき混ぜ、焦げ茶色になるまで炒める（写真❷）。
4. G&Gを加えて混ぜながらさらに炒め、香りが立ったらトマトペーストと少量の水（分量外）を加えてなじませる。
5. スパイスBと塩を加えて炒め、香りを立たせる（写真❸）。焦げ付きそうなら少量の水（分量外）を加える。
6. 1の牛肉を加えて炒め合わせる（写真❹）。
7. 全体的に色が変わったらはちみつ、赤ワイン、水を加える。沸騰したら蓋をし、まき火を弱火にして時々かき混ぜながら肉が柔らかくなるまで煮込む。目安は1時間ほど。味をみて塩加減（分量外）を調整する。

教えてくれた人
伊藤一城さん

2003年、東京・墨田区の古民家で「スパイスカフェ」を開店。オリジナルカレーで一世を風靡する。2021年には東京・兜町に2号店となるスリランカ料理「HOPPERS」を開き、スパイスの楽しさと可能性を提唱。キャンプをこよなく愛し、著書に『スパイスキャンプ 薫る至福のスパイス料理』がある。

「甲州地どり」の旨味を生かしインドの炊き込みご飯に挑戦

チキンビリヤニ

バスマティ米は長粒のインディカ米。パラリと軽やかな炊き上がりで、ビリヤニには欠かせない米なので、ぜひ用意したい。

［材料・4人分］

鶏手羽元（甲州地どり）…250g
バスマティ米…250g
タマネギ（縦にスライス）1個…250g
青唐辛子（小口切り）…1本
G&G…大さじ1/2
トマトペースト…18g
サラダ油…50ml
スパイスA（ホールスパイス）
・クローブ…2個
・シナモン…2本
・カルダモン…2個
クミンシード…小さじ1/2
スパイスB（パウダースパイス）
・ガラムマサラ…小さじ1
・カイエンペッパー…小さじ1/2
・ターメリック…少々
塩…小さじ1
ヨーグルト（無糖）…50g
水…180ml
トッピング
・赤タマネギ（粗みじん切り）…適量
・香菜（パクチー／粗みじん切り）…適量
・しょうが（せん切り）…適量

［つくり方］

1. バスマティ米は30分ほど浸水（水は分量外）させておく。
2. 厚手の鍋（直径18cmを使用）にサラダ油とスパイスAを入れて強火にかける。時々かき混ぜながら、スパイスの香りを油に移す。
3. スパイスの周りに気泡が出てきたら、クミンシードを加える。パチパチとはじけてきたらタマネギを加えて炒める。全体に油がなじんだら青唐辛子を加えてさらにかき混ぜながら炒める（写真❶）。
4. 茶色に色づいたらG&Gを加える。香りが立ったらトマトペーストと少量の水（分量外）を加えてなじませる（写真❷）。
5. スパイスBと塩を加えて、香りが立ったらヨーグルトを加える（写真❸）。
6. ヨーグルトがなじんだら鶏手羽元を加えて混ぜながら火を入れる。
7. 鶏手羽元に半分ぐらい火が入ったら、バスマティ米と水を加える（写真❹）。混ぜずにそのまま火を入れて、沸騰したら蓋をして極弱火で15分炊く
8. 火からおろし、蓋をしたまま15分蒸らせばでき上がり。底からさっくりと混ぜて皿に盛り、好みで赤タマネギ、香菜、しょうがをトッピングする。

食材は現地の店で調達

キャンプ飯といえば定番はバーベキューですが、「スパイス料理はキャンプと相性抜群ですよ」と話すのは東京・押上の人気店「スパイスカフェ」のオーナーシェフ、伊藤一城さんです。聞けば、伊藤さんはキャンプ歴40年以上の大ベテラン。中学生のときの野外活動をきっかけに魅了され、今も月に2回ほどはキャンプに繰り出しているのだとか。

「ソロキャンプしたり、仲間を誘って行ったりとシチュエーションはいろいろですが、つくるのはいつもスパイス料理。鍋一つでつくれるものが多いですし、カレーなど煮込む料理は水で調整ができるから、火加減はラフでいいんです」

そんなスパイス料理を教えてもらおうと、北杜市にある「The Camp & Garden AMANAYU」へ。東京から近い山梨のキャンプ場は普段からよく利用しているそうで、ここはお気に入りのスペースなのだとか。

到着すると、慣れた手つきでまきで火をおこし、いよいよ調理のスタートです。披露されるのは、ビーフカレー、チキンビリヤニ、スパイスサラ

「富士の介」の豊潤な旨味が地の野菜と見事にマッチ

スパイスサラダ

「富士の介」は、ニジマスとキングサーモンをルーツとする、
山梨県オリジナルのブランド魚。山梨の名水が育む至高の味わいだ。

［材料・4人分］

皮付きの魚の片身（富士の介）…500g
季節の野菜…適量
※今回はカブ、山うど、菜の花、トレヴィスを使用
季節の果物…適量
※今回は文旦を使用
塩こうじ…適量

トッピングスパイス…適量
・コリアンダーシード
・クミンシード
・フェンネルシード
（1:1:2でブレンド）
アーモンドなど
好みのナッツ…適量
塩・こしょう…各適量
レモン汁
（白ワインビネガーでも可）…適量
オリーブオイル…適量

［つくり方］

1. 魚の片身は一口大に切り、塩こうじでマリネして30分ほどおく（写真❶）。
2. キッチンペーパーで塩こうじを拭き取り、オリーブオイルをまとわせてから皮目を網焼きにする（写真❷）。
3. スキレット（小型の鉄製フライパン）などに網を置いて湯を沸かす。皮がこんがり焼けたら、スキレットの網に並べて蓋をして蒸し焼きにする（写真❸）。
4. 季節の野菜は好みで蒸したり網焼きにしたりする。網焼きにする場合はオリーブオイルを絡めて塩をふってから焼く。蒸し焼きにする場合はホイルにオリーブオイルを引き、野菜をのせて口を閉じて網の上へ。
5. 季節の果物は皮を剥くなどして食べやすく切る。
6. トッピングスパイスはすべて混ぜてフライパンでからいりする（写真④）。揺すりながら火を入れ、スパイスに触って熱いぐらいになったら皿に移し、ボトルの底などで粗くつぶす。ナッツもボトルの底などで砕いておく。
7. 皿に野菜、フルーツ、魚を盛り、塩、こしょう、レモン汁、オリーブオイルをかけてからスパイスとナッツを散らす。

ダ、スペアリブの4品。肉や魚は山梨県産を使い、サラダの野菜は道中のスーパーで調達しました。

「地元食材を味わうのもキャンプの楽しみの一つ。いろいろな食材がそろうのも山梨県の魅力ですね」

まき火の加減を見極めて

そう話しながら、まずはカレーづくりに取りかかった伊藤さん。この順番もポイントだと言います。

「まき火や炭火は火力にムラができるので、カレーは先に仕込んで火力の弱いところでコトコト煮込みます。その間に火力の強いところで別の料理をつくると効率がいいですよ」

さらに、手際よく進めるためには事前の準備も大切とのこと。

「スペアリブのような味を染み込ませたいものは、前日に漬け込めばあとは焼くだけ。スパイスも計量しておくとスムーズに料理できますね」

こうして3時間ほどで4品が完成。森の自然がスパイスの香りに共鳴し、味わいを一段と高めてくれます。もしキャンプに行く時間がないなら、まずは家でお試しを。スパイスがアウトドアさながらの癒やしの時間を運んでくれるでしょう。

「甲州富士桜ポーク」は網焼きで、ジューシーの極みに！

スペアリブ

まき火の薫香が、
「甲州富士桜ポーク」の奥深い味わいをグッと引き立てる。
調理の前日にスパイスに
漬け込んでおけば、後は焼くだけ！

［材料・4人分］

豚スペアリブ（甲州富士桜ポーク）…500g
マリネ液
・ヨーグルト…50g
・G&G…大さじ1/2
・はちみつ…大さじ1
・塩…小さじ1/2
・ガラムマサラ…小さじ1/2
・ターメリック…少々
・こしょう…少々
・白ワインビネガー…大さじ1/2

［つくり方］

1. マリネ液の材料を混ぜる。スペアリブに絡めてよくもみ込んで一晩おく。キャンプ前日に仕込むとよい（写真❶は漬け込んで、焼く前の状態）。
2. マリネしたスペアリブを網焼きする。肉に火が通り、両面にこんがり焼き色がつくまでじっくりと焼く。焦げやすいのでまきの量を減らして弱火にすること（写真❷）。

清流と緑に囲まれた林間サイト。敷地のすぐ横を流れる石空川は水深15cm前後の箇所が多く、子どもでも楽しめる。

The Camp & Garden AMANAYU（アマナユ）

山梨県北杜市
（詳しい住所は非公開。予約後に詳細が知らされる）
なし
※予約はメールで（amanayucamp@gmail.com）
¥ 1泊8,000円～（レギュラーサイト）
中央自動車道須玉ICから車で約15分

施設 …… テントサイト14カ所、キャンピングトレーラー2台
シャワー …… あり
お風呂 …… 近くに日帰り温泉あり
Wi-Fi …… なし
AC電源 …… 一部あり
ゴミ捨て場 …… なし
ペット …… 可

香ばしく焼けたスペアリブをほお張る伊藤さん（右端）。
店のスタッフや友人たちと、緑豊かなキャンプ場を満喫。

Hello, やまなし

南山梨「道の駅 富士川」を拠点に〝朝から〟親子で思いきり遊ぶ！

澄み切った早朝の空気を浴び、渓流や湖畔へ繰り出して、思い出に残る一日を過ごそう。

NATIVE SUP（四尾連湖）

山梨県西八代郡市川三郷町山保3353（四尾連湖）
080-3939-1146　9:00～17:00
中部横断自動車道 増穂ICから車で30分

静かな湖畔は、朝の空気も気持ちがいい！　SUPボードやウエットスーツの貸し出しがあるので、着替えやタオル、サンダルだけ用意すればOK。

南巨摩郡富士川町に「道の駅 富士川」はある。周辺には観光スポットやレジャー施設が点在し、朝から遊び尽くす最高のロケーションだ。

まず向かったのは、富士川町十谷地区にある「大柳川渓谷」。ゆっくり散策をしながら名所のつり橋を渡れば、なんとも気持ちがいい。

朝から動けば、たっぷりと

そして、青く澄み、龍がすむという神秘の湖・四尾連湖に向かう。「NATIVE SUP」河野牧子さんの指導で、SUP（スタンドアップパドルボード）に初挑戦。家族3人で楽しんだが、湖に転落したのはお父さんひとり。落ちてみなければ、湖水の清々しさはわからないさ。

そしてお目当ての「道の駅 富士川」へ。ここで昼食をとって、地元野菜やフルーツ、それにお土産をたっぷり購入。いや～、大満足。

午後は、南アルプス市の複合施設「fumotto」にあるバイクパーク「CARNOSA」で、MTBに。南アルプスから吹き降ろす風が心地いい。

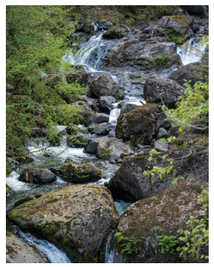
こんなに盛りだくさんの体験ができたのも〝朝活〟のお蔭。もう、甲府盆地に穏やかな薄暮が迫ってきた。

CARNOSA（fumotto南アルプス）

2024年オープン、プロライダーが設計造成したBMX/MTBパークのほか、ラジコン用RCパーク、車中泊ができるRVパークも併設している。

山梨県南アルプス市十日市場1571-1
055-225-3151　10:00～18:00（土、日、祝は9:00～18:00）
休 水曜、木曜　中部横断自動車道 南アルプスICを降りてすぐ

大柳川渓谷



朝早くから歩いて渓谷一帯の自然を満喫しよう。カーナビなどの設定は、乗用車も駐車できる富士川町十谷大型バス駐車場（以下住所）を。

山梨県南巨摩郡富士川町十谷160
0556-22-7202（富士川町観光振興課）
中部横断自動車道 増穂ICから車で20分

南山梨の歴史を感じさせる名所へ足を伸ばそう

歌舞伎文化公園（甲斐上野城趾）

武田信玄の異母弟、一条信龍の居城として知られる甲斐上野城趾にあるふるさと会館では、着物や甲冑などの着付け体験を楽しめる。4階には眺望抜群の展望台がある。

山梨県西八代郡市川三郷町上野3158
055-272-5500　9:00～17:00
休 月曜、火曜、水曜、木曜
中部横断自動車道 増穂ICから車で15分

道の駅 富士川周辺のスポット一覧

道の駅 富士川

写真提供：道の駅 富士川

南山梨とは、峡南地区と呼ばれる南部町、身延町、早川町、市川三郷町、富士川町の5つの町に、南アルプス市を加えたエリアのこと。道の駅 富士川は、南山梨各エリアへのアクセスも抜群だ。

山梨県南巨摩郡富士川町青柳町1655-3
0556-48-8700　9:00～18:00
中部横断自動車道直通。増穂ICに隣接

南山梨の「朝」をさらに満喫したい人へ

スペシャルサイト
「南山梨Hello!（Morning!）」の
詳細はこちらから

文●山田清機（ノンフィクション作家）／撮影●野瀬勝一

江戸時代から続く、人を結びつける文化「無尽」とは？

文●山内史子（紀行作家）／撮影●牧田健太郎／イラスト●菅沼遼平

山梨県内の街中を散策していると時折、「無尽会、承ります」と掲げられた飲食店を目にします。無尽とはなんだろうと疑問に思い尋ねたところ、親しい仲間が食事をする集いなのだとか。

ふつうの宴会とはどう違うのかと興味をうながされて歴史をたどったところ、山梨県で培われてきた、人との縁を大切にする暮らしが見えてきました。

無尽のはじまりは地域住民の助け合い

無尽はかつて、仲間うちでお金をためたり資金を提供しあったりする、庶民の金融システムだったと話すのは、山梨県立富士山世界遺産センターの学芸員・堀内眞さんです。

「甲府盆地の商人や富士山周辺で盛んだった機織りの職人など、自営業の人たちが定期的に寄り合い、決まった額のお金を納めていたのが無尽のはじまりです。江戸時代に発展し、地域社会における相互扶助という役割を担っていました」

流儀はいろいろとあったようですが、たまったお金はくじ引きや競りによって必要な人の手にわたり、商売や生活の助けになったそうです。

やがてその目的は変わり、無尽で積み立てられたお金は旅行や親睦会に使われるように。商いにかかわらず、無尽の仲間は会社の同僚や友人へと広がりながら現在に至りました。

「もともと無尽は全国的に見られるもので、山梨県特有の文化というわけではありません。とはいえ、その名称とともに、定期的に集まる習慣が今も残る地域はほとんどないようです。山梨の無尽は、時代の変遷とともに目的やスタイルを柔軟に変えてきたことで、人とのつながりとともに引き継がれているのだと思います」

幾度となく一緒に過ごすことで互いに対する思いは自然と深まり、誰かが困っていれば助け合うという精神も、山梨の無尽では昔ながらに受け継がれています。

山梨県は全国トップクラスの健康寿命を誇りますが、一説にはその理由が無尽によるコミュニケーションに由来するとも。

「人間関係が希薄になっている今の世の中にこそ、無尽は大切な存在なのかもしれません。複数を掛けもちしている人もいるほどです。『今日は無尽だ』と思うと、私も楽しみになります」

東京から近いエリアであるにもかかわらず、山梨県には古き佳き人情や優しさが根付いているようで、堀内さんの笑顔を拝見しながら感慨深い思いにかられました。

例えば、ファミリーレストランのママ友の集まりにも無尽があると聞けば、親近感を覚えます。一緒に何かイベントを行った後に、「無尽を立てようか」という声が上がることもあるとか。定期的に仲間と集まりおいしいものを食べたり、にぎやかに飲んだり、旅する日を指折り数えたり。無尽との関わりが生まれれば、日々の潤いになることでしょう。

お話をうかがったのは……

山梨県立富士山世界遺産センター
調査研究スタッフ
学芸員
堀内 眞さん

どんどん変わる、山梨県の“今”を知ろう

NAGASAKI kotaro

山梨県知事
長崎幸太郎

グリーン水素で、さらに豊かな山梨県に

再生可能エネルギーでつくる電気で、水を分解して生むのがグリーン水素。山梨県は、この開発拠点に……

山梨県の水素キャラクター「水素のスイチョ」が誕生。デザインは山梨県北杜市に移住した中野シロウさん。

©YAMANASHI / nakanogumi

皆さん、**山梨県が今、世界に誇る再生可能エネルギーを使って製造する「グリーン水素」の開発拠点になっているのをご存じでしょうか？**

地球は今、温暖化の影響で猛暑や台風、川の氾濫、山火事といった自然災害が起きています。

これは、人間が長い間、石油や石炭といった化石燃料を使い続けてきたツケですよね。

こうした状況を変えるカギの一つとして、今、世界から期待されているのが「水素エネルギー」です。

地球にやさしい、循環型社会を

電力を使って水を電気分解すると、「水素」が生まれます。**この水素はエネルギーとして貯蔵できる上、持ち運びも可能。運んだ先で燃やしたり化学反応を起こしたりすれば、また電気を生み出すことができる。しかも使うときにも、CO_2を出さない超優れもの！**

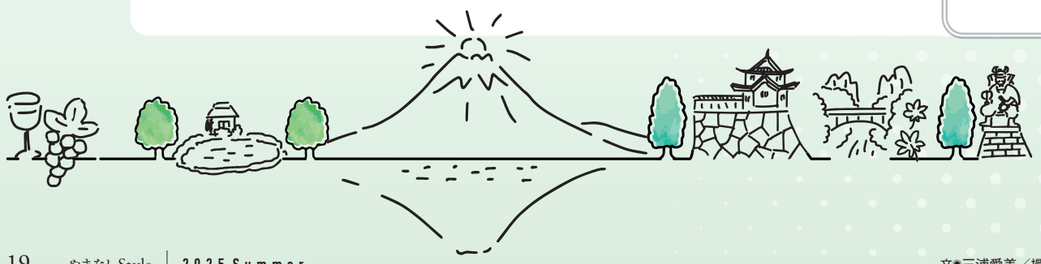
水素エネルギーをもっとレベルアップすることで、地球にやさしい循環型社会を実現したい。

そんな発想で展開する「やまなしモデルP2G（Power to Gas）システム※」が生み出すグリーン水素に、サントリーホールディングス、住友ゴムといった名だたる企業が共感してくださっています。

エネルギーの地産地消、雇用や経済の活性化、水素エネルギーが持つポテンシャルは計り知れません。産学官がタッグを組んで、未来エネルギーを育てていく……。こんなに素晴らしいことないでしょう。

そんなワクワクするようなプロジェクトを積極的に推進していくことで、山梨県は、さらに豊かになっていくはずです。

※再生可能エネルギー（Power）から水素（Gas）をつくり、溜めて、電気や熱として活用するシステム。



文●三浦愛美／撮影●神出 暁

次世代エネルギーPR施設「きらっと」へ

大人にも子どもたちにもサプライズがいっぱい。山梨県の水素・クリーンエネルギーを楽しく学ぼう！

米倉山次世代エネルギーPR施設「きらっと」の中に入ると、まず目に飛び込んでくるのが県内最大級というLEDビジョン。ここで、今、問題となっている地球温暖化の影響や次世代エネルギーの現状と未来が紹介されている。また、壁面パネルコーナーやインタラクティブタッチパネルなどで、二酸化炭素を排出しない「グリーン水素」のシステムを楽しく学ぶことができる。

山梨が挑戦してきたエネルギー開拓史が！

甲府南ICから車を走らせること約10分。緑あふれる米倉山が姿を現す。**ここは未来のエネルギー「グリーン水素」の研究開発拠点。**山梨県が誇る希望の地ともいえる。

ここには、米倉山次世代エネルギーPR施設「きらっと」がある。笑顔で出迎えてくれたのは、山梨県知事政策補佐官の宮崎和也さんだ。

子どもも多く訪れるこの施設は、山梨県が取り組んできた、これまでの歴史と未来のエネルギーについて学ぶことができる。

館内の奥で「ご覧ください」と示されたのは、1900年から現在に至るまでの「山梨のエネルギー開発史」のパネル。これを見ると、**世界がCO₂削減を叫び始めるよりはるか昔から（なんと明治時代から！）、山梨県は自然の力を生かした電力づくりに挑戦してきたことがわかる。**

自然発生エネルギーを、さらに進化させていく

「山に囲まれた山梨は川が多く、昔から水車を利用した水力発電が盛んだったんです。芦川第一発電所の稼働は、なんと1900年。以来、次々に発電所が建設され、山梨の電気は東京の街をも明るく照らすようになっていったんです」と宮崎さん。

2000年代に入ると、太陽光発電にも力を入れ始める。山梨県は、全国でも指折りの「晴れの多い場所」である。その太陽の恵みをエネルギーとして生かさない手はない。人々のエネルギーへの考え方が180度変わるような出来事も起きた。2011年の、東日本大震災である。

「あのとき人々のエネルギーに対するマインドはガラリと変わりました。近年は地球温暖化の影響もどんどん大きくなっています。原子力や火力発電を一気になくすことは難しいですが、地球にやさしいエネルギーが待ったなしで求められています」

政府も手をこまねいているわけではない。コストがかさむ太陽光発電利用を後押しするためのFIT制度なども生み出した。そうした時流の先に、**山梨県が次に見つけた希望。それが「水素エネルギー」だった。**

1. 今回、対応をしてくれた山梨県知事政策補佐官の宮崎和也さんは、グリーン水素の可能性を丁寧に教えてくれた。**2&3.** 施設には興味深い展示がさまざまある。

©YAMANASHI / nakanogumi

米倉山から世界に向けて地域の力で未来をひらく

「山梨県が本格的な水素研究開発をスタートしたのは2016年のことでした」。そう宮崎さんは振り返る。

これまで培ってきた自然再生エネルギーに関する技術を、さらに進化させたい。そこにもう一つの幸運も重なった。

「実は山梨大学には燃料電池研究の世界的権威、渡辺政廣先生をはじめ、最先端の研究をされている先生方が多数がいらっしゃいます。特に渡辺先生は、50年以上前から水素エネルギーの可能性に着目してきた方です。先生が築かれてきた世界中の研究者とのネットワークも本県にとっての財産です」

山梨県なりの〝戦略〟もあった。

「正直、山梨のような小さな県が、レッドオーシャンで戦っても勝算は少ない。**ならば『まだ誰もやっていない』ニッチなジャンルで、ファーストペンギンになった方がいい**」

もちろん「水素エネルギー社会」の実現には、まだまだ乗り越えなくてはならないハードルがある。生産にかかるコストが高く、製造業をはじめ、さまざまな分野においてグリーン水素の利用を拡大していくことが必要だ。だが、希望はある。かつて太陽光発電の普及に「FIT制度」が一役買ったように、政府主導の助成制度の検討が始まっている。まさに未来のエネルギーに向けて、国や県、大学などの研究機関と民間企業が、それぞれの一歩を踏み出しているといえるだろう。

「山梨県の100年の歴史を振り返ると、電力事業の収益が私たちにもたらしてくれた恵みはたくさんあることに気付きます。例えば、山梨県立美術館に収蔵されているミレーの絵画の購入費用には、この電力事業の収益が貢献しているんです」

というのも山梨は全国でも珍しく、県が水力発電所を所有・運営しているのだ。発電された電力は、県内の電力需要の約8％に相当し、その多くは県内で消費され、それと同時に大きな利益も生み出している。その額はなんと年間約10億円！

「周辺の都県に比べると、経済規模が見劣りがちな山梨県ですが（笑）、こと再生可能エネルギーや水素エネルギーに関しては、一歩も二歩も先んじているんです」

そう胸を張る宮崎さんは、「先輩たちが残してくれた、このバトンを今度は私たちが受け継がなくてはなりません」と力をこめる。**この小さな山の中から、山梨県の新たなエネルギー革命が起きようとしている。**

それはやがて世界をも変えるかもしれない。

©YAMANASHI / nakanogumi

Wonderful Town Yamanashi.

なぜ山梨に？「Nesrad（ネスラド）」の研究者に直撃

研究開発ビレッジの誕生、そして水素エネルギー開発の拠点に……。新しい産業が山梨県に〝人〟を呼ぶ

企業や研究機関が日々、切磋琢磨する

「ここで研究ざんまいの日々を送れて満足しています」。そう笑顔で語るのは、技術研究組合「FC-Cubic」で働く片山翔太博士だ。

米倉山にある彼の職場は、空から眺めてもすぐにわかる。山頂を覆う巨大なソーラーパネルのそばにある、白く大きな建物。それが**米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ、通称「Nesrad」だ。**

ここは山梨県が運営する新しいタイプの入居型研究棟。現在、NTTドコモや東レ、東京電力など、約9つの企業や研究機関が拠点を構えており、水素エネルギーや燃料電池技術の研究や実験を日々行っている。

FC-Cubicも、その一つだ。

大学院を卒業し、9年前にFC-Cubicに就職して以来、片山さんは主に燃料電池の性能向上と耐久性の研究に取り組んできた。

「水素から電力を取り出すときに、無駄なエネルギーをなるべく減らしたいんです。燃料電池の性能をどんどん上げ、耐久性も上げていきたい。そのために、大学や研究機関が開発した技術を評価し、改善点をフィードバックするのが私の仕事です」

研究所の移転で、山梨へと移住

実はFC-Cubicは、もともとは東京・お台場にあった。それが2年前に山梨に移転。なぜ研究所そのものが山梨に引っ越すことになったのだろう。

「一番の理由は、スペースの問題です。東京の研究所はもはや手狭で、大型設備を入れたくても難しい状況でした」。加えてもう一つ、大きな悩みも。それは「水素をふんだんに使えなかったこと」。

お台場では水素を業者から購入していたため、思うときに思う存分使うことは難しかったのだという。

そんなとき、**山梨県が水素関連事業の研究機関の誘致を進めていると聞き、移転を決意。**当時は「あの有名なFC-Cubicが山梨へ？」と業界でも話題になったという。

知のコミュニティを満喫する山梨ライフ！

さて、職場の引っ越しに伴い、自身も山梨に移住した片山さん。山梨で働いてみての感想はどうだろう。

「とても大満足しています。**広々とした敷地に、充実した研究設備。機材も思う存分使えるようになりました**」とにっこり。さらに重要なのが、米倉山のメガソーラーパネルの存在だ。**ふんだんに降り注ぐ太陽光からつくられた水素は、パイプラインで研究所に送られ、蛇口をひねれば好きなだけ出てくる水道水のように使える。**「思い切り研究できる環境は、他県で研究に携わる知人からもうらやましがられています」と語る。

とはいえ、山梨への移住に不安はなかったのだろうか。

「もともと大学の先生になるより、研究ざんまいの生活を送りたかったんです」と語る片山さんにとって、ほかの企業や研究者たちと日々間近に触れあい、課題を議論できる環境は、素晴らしく刺激的だという。

「研究所には45人ほどの研究者がいます。所属はそれぞれ異なっても、同じ課題に向き合っている仲間です。もちろん守秘義務などはありますが、意識的には同僚に近い。異なる視点から意見をもらえる環境は、なかなか、ほかでは得難いものです」

研究者・住民として山梨は魅力的に

そんな片山さんはプライベートでも山梨生活を満喫中だという。

「何といっても人口密度が低いのがいいですね。**満員電車に乗らなくていいのが、こんなに楽だとは知りませんでした。**今は休日も自然の中で穏やかに過ごせていますし、店ごとに異なる〝ぼうとう〟の味比べも楽しいです。それに、地元の方がくださる果物や野菜がおいしくて！」

さらにもう一つの楽しみが、こちらに来て始めたサイクリングだ。

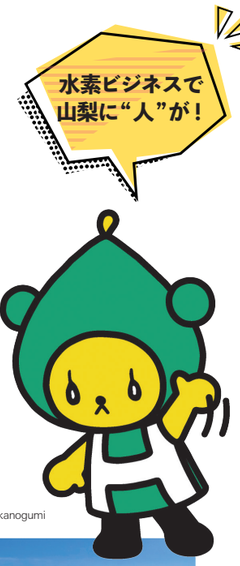
「少し走れば見える景色が違う。春は標高によって、桜の咲き加減も違うんですね。豊かな自然の味わい方は、ここ山梨で知りました」

数年後にはリニア中央新幹線も開通予定だ。品川からわずか25分で往来できるようになれば、移住者だけでなく通勤者も増えるだろう。

「県が力を入れていることもあり、知的な刺激の輪はどんどん広がるでしょう。研究者としても、住民としても、これからますますおもしろい場所になる予感がしています」

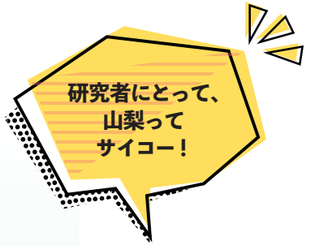
研究者が増える・企業が集まる・新たな産業が興る――。「知の山梨県」、そんな未来が確実にくる。

1. 山梨県が誇る、「Nesrad」の外観。日々、水素エネルギーや燃料電池技術の研究や実験が行われる。2. 上司と談笑する片山さん。



©YAMANASHI / nakanogumi

未来のエネルギー「グリーン水素」の研究開発拠点となっている山梨県・米倉山の全景。山頂を巨大なソーラーパネルが覆い、再生可能エネルギーを生み出している。写真の右下に見えるのが、米倉山次世代エネルギーPR施設「きらっと」、そして写真左下に見えるのが、米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ「Nesrad」になる。



©YAMANASHI / nakanogumi

Wonderful! Town Yamanashi.

やっぱり山梨が好き

File.04

嶋佐和也さん お笑い芸人

上京して気付いた〝誇るべき〟故郷の魅力

Shimasa Kazuya

5歳の誕生日を迎えたときの嶋佐さん。

僕は山梨県の富士吉田市で生まれ育ちました。幼い頃は、父に連れられて市内の諏訪の森自然公園へよく遊びに行ったものです。地元では“富士パインズパーク”の愛称で親しまれるこの場所で、日が暮れるまでアスレチックに夢中になったのが懐かしいですね。

富士吉田市には、富士山や富士急ハイランド、葭之池温泉に新倉山浅間公園といった魅力的なスポットがたくさんあります。でも、そんな地元を「好き」と胸を張って言えるようになったのは、上京してからでした。学生時代はスポーツも勉強も熱が入らず、放課後はショッピングモールのゲームセンターやカラオケに入り浸る毎日。どうにもさえない生活を送っていたためか、身近にある自然や街の魅力にまったく気付けませんでした。しかし、いざ上京して東京で暮らしてみると、地元の“価値”が見えてきたのです。

自然と美味の宝庫、富士吉田

空気は澄んでいるし、日頃から飲んでいる富士山の雪解け水はおいしくて、夏はエアコン要らずの涼しさ。夜は星がくっきり見えて、景色が本当にきれいなんです。かつては何とも思っていなかった富士山も、今では帰るたびに圧倒されます。ぜひ一度、国道139号線を大月方面から下吉田方面に走ってみてほしいですね。まっすぐな道の先にドーンと富士山が現れる、あの光景は壮観。今ではどんなに忙しくても、年に一度は必ず帰っています。

変わらない昔ながらの風景に、少しずつ新しい風が吹き込んでいるのも、地元の魅力。例えば市内の西裏地区にはリノベーションされたレトロな飲み屋やワインバーが増えていて、いい雰囲気です。

さらに地元はグルメも充実していて、「め組寿司」では海なし県とは思えないほど旨いにぎりや刺身が楽しめるし、うどん屋「麺許皆伝」は間違いなし。洋食レストラン「M-2」のエビドリアは僕にとって懐かしの味です。それから、本格和食を気軽に楽しめる「酒と肴 山吹」や、宿泊もできる高級フレンチ「nōtori」では、同級生が腕を振るっています。こうした豊かな食文化も地元の誇りです。

正直、学生時代は何をやっても中途半端でした。でも、あの退屈な日々をどうにか面白くしようとあがいていた経験が、今のお笑いにつながっているのかもしれません。地元で気の合う仲間とバカなことで笑い合った時間こそが、僕の「芸人の原点」なんです。

ちゃんと田舎でありながら、観光資源が豊富で、都会へのアクセスも良好――。それが地元・山梨の大きな魅力。それをこれからも発信していきたいし、いずれは故郷で何か事業ができたら最高ですね。

1986年、山梨県富士吉田市生まれ。NSC東京校に15期生として入学し、2010年に屋敷裕政とお笑いコンビ「ニューヨーク」を結成。2019年、2020年に「M-1グランプリ」で決勝進出する。「キングオブコント」では2020年、2021年に決勝進出。2024年には単独ライブ「そろそろ、」を全国5都市で開催し、1万人以上動員。趣味はロックライブ鑑賞、プロレス・格闘技観戦など。空手初段。

構成●菅沼遼平／写真提供●吉本興業

さあ、Y's Lifeに
〜「やまなし移住計画」指南手帳

04

会社員
高橋伸也さん

豊かな生活を求めて移住へ。湖や棚田など、“里山”を満喫

移住前から家族で帯那に通い、田植えや稲刈りなどに参加させてもらっていた。息子の朔也くんは大きなカエルも手づかみできるようになった（左）。2025年3月、自宅に「UNCAGE.」という名の週末コーヒースタンドをオープン。「千代田湖を眺めながら、ひと息つける場にできれば」と、妻のみずきさん。詳細はInstagram、@uncage_obinaにて（中・右）。

妻も自分も東京で暮らし、忙しくも充実した日々を過ごしていました。

ふと「通勤や残業が大変で、毎日何のために働いているのか」と、〝消耗している〟ような感覚が芽生えてきたのです。

住まいについて話をする中で、お互いが「自然が近い暮らし」に憧れがあるとわかり、いずれはどこかへ移り住みたいと考え始めました。

2015年頃から約8年かけて準備を進め、甲府市の帯那地区に移住したのが2023年3月。

この地を選んだのは、東京・有楽町の「やまなし暮らし支援センター」や、甲府市の移住支援担当の方に薦められたのがきっかけです。

甲府駅から車で20分ほどの距離なのですが、山を超え、突如目の前に現れる千代田湖や近隣の里山の風景に、不思議な場所だと思ったことを覚えています。

町の行事などを通じて近所の皆さんとより親密に

自宅のすぐ目の前が湖です。毎日その自然に癒やされ、ご近所さんたちとも、心地よい距離感で関わることができています。

このあたりでは、一斉に草刈りをする時期があります。この、草刈りといった町の行事に参加する中で、ご近所の皆さんとの何気ない会話を通じて、「人とのつながり」の素晴らしさを実感できるのも、ここに住んでいる魅力の一つです。

夫婦ともに週に数回、都内のオフィスに出社し、それ以外の日はリモートで働くというスタイルで、通勤はドア・ツー・ドアで約2時間。

「東京までの往復、大変ではないですか？」とよく聞かれますが、満員電車から解放され、仕事や読書、気になる映画を見たりと、有意義な時間を過ごせています。

移住に関心がある人には、「最初からあまり難しく考え過ぎない」ということを伝えたいですね。

「移住して終（つい）のすみかを」と考えるとハードルが上がってしまうので、「引っ越しする」程度の気軽な感覚で、いろいろなエリアを訪れるといいのではないでしょうか。

2025年春、日曜限定の営業ですが、コーヒースタンドを妻がオープンし、夫婦でお客さまにコーヒーをお出ししています。

移住に興味がある人は、ぜひ来ていただいて、湖のほとりで里山の魅力を感じてもらえればと思います。

まずは「やまなし暮らし支援センター」へ

山梨県への移住・二拠点居住希望者へ移住相談員が情報提供。オンラインや電話での相談にも対応しています！

詳しくはこちらから。▼

Profile

たかはし・しんや ▶ 東京都世田谷区生まれ。広告会社勤務、多忙な日々を送る中、精神的にも肉体的にも疲れを感じ、「お金を稼ぐためだけではなく、生きるためにエネルギーを使いたい」と脱東京を決意。何度も候補地を下見に訪れるなど入念に準備を重ね、2023年3月、家族3人で移住を実現した。趣味は写真撮影、キャンプ、スノーボード。

構成●野村昌二／写真提供●高橋伸也